

SSSVフィリピン大学研究室交流会



静岡大学 工学部
機械工学科

東郷・島村・藤井
研究室

交流プログラム参加者

- 静岡大学

教員2名, 学部4年4名,
修士1年4名

合計10名

- フィリピン大学

教員2名, 学生10名

合計12名

交流プログラムの概要

交流期間 12月1日~ 12月6日

12/1(Sat) Field Trip in Manila City

12/2(Sun) Field Trip in Subic Bay

12/3(Mon) Visiting JICA Office

12/4(Tue) Visiting JICA Project site

12/5(Wed) UPD Campus Tour

12/6(Thu) Student Workshop On
Research

プログラム

- 12/1(Sat) Field Trip in Manila City



サン・ピエトロ大聖堂



原住民になる藤井先生

プログラム

- 12/2(Sun) Field Trip in Subic Bay



昼食は魚の丸焼き



離島に上陸

プログラム

- 12/3(Mon) Visiting JICA Office
10:30 JICAフィリピンオフィス訪問



JICAの活動について説明を受ける



オフィスからの展望

プログラム

- 12/4(Tue) Visiting JICA Project site
14:30 JICAプロジェクトサイト(マニラ市営地下鉄運行管理所
及び整備工場)見学



整備中の車両



事務所にはクリスマスツリー

プログラム

- 12/5(Wed) UPD Campus Tour



構内を走るジプニー



フィリピン大学正門

プログラム

- 12/6(Thu) Student Workshop On Research
10:30 研究ワークショップ(研究発表)
19:00 交流会



発表会の様子



交流会の様子

相手国の理解

- 多種多様・・・ 気さくな人, 大人しい人
- 治安は悪い
 - ↳ 街中にライフルを持った警備員
モールの入り口に金属探知機・手荷物検査
- 貧富の差が激しい
 - ↳ 高層ビル街の中にスラム
大学構内に物乞い

交流会を終えて

- 海外に対する抵抗感がなくなった
- 多様な国の人たちと意思疎通したいと考えるようになった
- 外国に行かなければ本当の意味で相手国を理解することにならない
- フィリピン大学の学生と会話する時に「もっと英語が喋れたらなあ」と思った。